

おくすり手帳



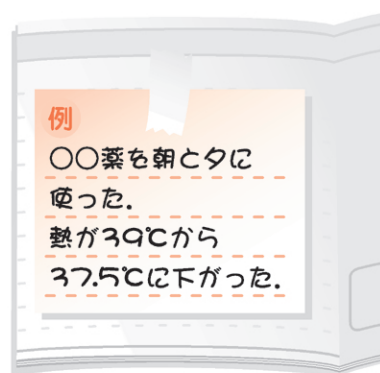
おくすり手帳とは、今まで使用した薬を記録した手帳で、いつ使った薬なのか、薬の名前、量、使い方、日数などが書いてあります。ご自身で持っていただく薬の記録です。

ぜひおくすり手帳を活用しましょう。

● 症状の変化や副作用などを記録する

薬の使用状況および症状に対する効果を記録しておきましょう。医師が薬の効果を判断する情報になります。

また、気になる症状が出てきたときにも、記録をしましょう。副作用の場合は、程度によっては薬を中断し、変更するケースもあります。



● 受診時には必ず持参する

今まで使ったことのある薬について、医師や薬剤師に正確に伝えることができます。薬を使用した記録は副作用について、今のんでいる薬の記録は相互作用（のみ合わせ）について、医師や薬剤師が確認するために必要な情報です。

家に保管するのではなく、受診時には持参するようにしましょう。

● お子さまの場合

年齢や体重などにより薬の量が変化していきます。かかりつけの医師や薬剤師以外でも適切な薬やその量を確認することができます。



● いつでも持ち出せる場所に保管する

災害などの緊急時に忘れず持ち出すことができる場所に保管しましょう。災害時や夜間・休日に受診する場合、かかりつけの病院・薬局へ行くことができないときがあります。おくすり手帳があれば、今までの経緯を正確に医師や薬剤師へ伝えることができ、より安全で適切な薬を使用することにつながります。

